

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成13年	5月	さいたま市誕生
平成13年	5月	さいたま市議会として初の議会開会（5月臨時会）
平成13年	5月	さいたま市長選挙執行。初代市長に相川宗一氏が当選
平成13年	5月	武蔵浦和駅市民の窓口が武蔵浦和支所が変わる
平成13年	5月	谷田連絡所と南浦和連絡所が統合され、谷田市民の窓口が開設
平成13年	10月	周産期母子医療センターが開設（市立病院内）
平成13年	10月	埼玉スタジアム2002がオープン。初試合は浦和レッドダイヤモンズVS横浜F・マリノス
平成13年	10月	さいたま市誕生記念式典（さいたまスーパーアリーナ）
平成13年	10月	市章を制定
平成13年	11月	埼玉スタジアム2002で初の国際試合が開催。日本代表VSイタリア代表
平成13年	12月	市立浦和南高校が第80回全国高校サッカー選手権大会に出場
平成14年	2月	大谷場東小・大谷場中で小・中学校一体型の新校舎が落成
平成14年	2月	北浦和バスターミナルが完成
平成14年	3月	東北自動車道浦和インターチェンジが全面開通
平成14年	3月	浦和学院高校が第74回選抜高校野球大会に出場
平成14年	4月	さいたま市保健所が開設（埼玉県大宮合同庁舎内）
平成14年	5月	さいたま市誕生1周年記念式典（文化センター）
平成14年	5月	市の木(ケヤキ)・市の花(サクラソウ)・市の花木(サクラ)を制定
平成14年	5月	馬宮コミュニティセンターが開設
平成14年	6月	2002FIFAワールドカップが開催（5月31日から6月30日まで。埼玉スタジアム2002で日本代表初戦と準決勝が行われる）
平成14年	8月	浦和学院高校が第84回全国高校野球選手権大会に出場
平成14年	11月	さいたま市商工見本市「コラボさいたま2002」が開催（大宮ソニックシティ）
平成14年	12月	東浦和第一土地区画整理事業の換地処分が完了。大字大牧、大字大間木、大字井沼方、大字蓮見新田、大字中尾の各一部が東浦和1～9丁目となる
平成14年	12月	浦和東警察署が開署
平成15年	3月	大宮南部浄化センターに自然庭園が完成
平成15年	3月	浦和学院高校が第75回選抜高校野球大会に出場
平成15年	4月	政令指定都市に移行し、9の行政区を設置
平成15年	4月	政令指定都市移行記念式典（さいたまスーパーアリーナ）
平成15年	4月	市の歌「希望（ゆめ）のまち」を発表
平成15年	4月	名誉市民賞を贈呈（井原勇氏・新藤享弘氏）
平成15年	4月	西区・見沼区・桜区・南区でコミュニティバスの運行開始
平成15年	4月	児童相談所が開設
平成15年	4月	こころの健康センターが開設
平成15年	4月	さいたま市議会議員一般選挙執行
平成15年	4月	さいたま新都心土地区画整理事業区域西側地域の換地処分が完了。大宮区、中央区、浦和区にある上木崎1丁目、北袋町1丁目、吉敷町2丁目、上落合1丁目、大字上落合、錦町の各一部が中央区新都心となる
平成15年	5月	新浦和橋有料道路（国道463号バイパス）が無料化
平成15年	5月	下落合コミュニティセンターが開設
平成15年	5月	記念総合体育館「Vアリーナ」が開設
平成15年	6月	さいたまシティカップ2003が開催。浦和レッドダイヤモンズVSフェイエノールト・ロッテルダム

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成15年	7月	各区で区民会議発足
平成15年	8月	桜消防署が新庁舎へ移転
平成15年	8月	住民基本台帳ネットワークシステムが本格稼動
平成15年	10月	さいたま市民まつり（咲いたまつり2003）が開催
平成15年	11月	北消防署植竹出張所が新庁舎へ移転
平成15年	11月	浦和レッドダイヤモンドズがJリーグ・ナビスコカップ初優勝
平成16年	3月	北部拠点宮原地区内の都市計画道路が開通
平成16年	3月	シーノ大宮が竣工
平成16年	3月	地上デジタル放送用のタワー建設に向けた「さいたまタワー実現大連合」が設立
平成16年	3月	市民医院大宮が閉院
平成16年	4月	女性・労働福祉会館が高鼻コミュニティセンターとして開設
平成16年	4月	障害者更正相談センターが開設（大宮区役所内）
平成16年	4月	さいたま商工会議所が設立
平成16年	4月	ショッピングモール「ステラタウン」がオープン（北部拠点宮原地区）
平成16年	5月	シーノ大宮センタープラザが開設（生涯学習センター・桜木公民館）
平成16年	5月	大久保東公民館・児童センターが開設
平成16年	5月	秋葉の森総合公園が開設
平成16年	5月	首都高速埼玉新都心線が開通
平成16年	6月	寺前地下道が開通
平成16年	7月	火葬施設「大宮聖苑」が開設
平成16年	7月	桜木図書館が開設（シーノ大宮センタープラザ内）
平成16年	8月	さいたま市と岩槻市の合併調印式
平成16年	8月	浦和学院高校が第86回全国高校野球選手権大会に出場
平成16年	9月	第59回国民体育大会（彩の国まごころ国体）夏季大会が開催
平成16年	9月	ショッピングモール「コクーン新都心」が開設
平成16年	10月	第59回国民体育大会（彩の国まごころ国体）秋季大会が開催
平成16年	10月	北部拠点宮原地区がまちびらき（ノーザンハートきたまち）
平成16年	10月	新潟県中越地震が発生（10月23日）。市内でも東北自動車道浦和インター・東武野田線などに影響
平成16年	10月	新潟県中越地震に伴う災害支援活動を行う
平成16年	11月	第4回全国障害者スポーツ大会が開催
平成16年	11月	浦和レッドダイヤモンドズがセカンドステージ優勝（駒場スタジアム）
平成16年	11月	さいたまレイナス（浦和レッドダイヤモンドズ・レディースの前身）がL1リーグ優勝
平成16年	12月	さいたま市議会議員補欠選挙（南区）執行
平成16年	12月	都市計画道路第2産業道路が開通（田島大牧線から武蔵野線までの1.3km）
平成16年	12月	イオン与野ショッピングセンターがオープン（日本ピストンリング与野工場跡地）
平成17年	2月	大宮東警察署が開署
平成17年	3月	市証紙の取り扱いを廃止
平成17年	3月	浦和学院高校が第77回選抜高校野球大会に出場
平成17年	3月	上尾道路に歩道橋かかる
平成17年	3月	エキナカ商業空間「エキュート大宮」がオープン（JR大宮駅）
平成17年	4月	さいたま市と岩槻市が合併し、人口118万人となる
平成17年	4月	さいたま市・岩槻市合併記念式典（大宮ソニックシティ）
平成17年	4月	各区の色を制定

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成17年	5月	桜区役所がプラザウエスト内に移転
平成17年	5月	さいたま市長選挙執行。2代目市長に相川宗一氏が再選
平成17年	5月	さいたま市議会議員補欠選挙（浦和区）・増員選挙（岩槻区）執行
平成17年	6月	さいたま市役所でクールビズ（ノー上着・ノーネクタイ）がはじまる
平成17年	6月	さいたま市が天然ガス自動車普及促進モデル地域第1号に認定される(国土交通省)
平成17年	7月	プラザウエスト・桜図書館が開設
平成17年	7月	緑消防署美園出張所が新庁舎へ移転
平成17年	8月	北区でコミュニティバスの運行開始
平成17年	8月	石綿対策推進本部を設置
平成17年	8月	企業誘致に向けた産業展開推進本部を設置
平成17年	8月	小・中一貫「潤いの時間」教育特区が認可される（人間関係プログラムと英会話の授業を実施）
平成17年	10月	さいたま市が第3回まんの日文化大賞を受賞
平成17年	12月	平和都市宣言を制定
平成17年	12月	大宮深作土地区画整理事業の換地処分が完了。見沼区大字深作、大字丸ヶ崎の各一部が春野4丁目となる
平成17年	12月	地域コミュニティ放送局「FM浦和（レズウェーブ）」が開局
平成17年	12月	浦和東高校が第84回全国高校サッカー選手権大会に出場
平成18年	1月	全市立小学校と養護学校に警備員を配置
平成18年	1月	浦和レッドダイヤモンドがサッカー天皇杯優勝
平成18年	2月	皇太子殿下が見沼通船堀を視察
平成18年	2月	大宮競輪について平成19年度からの撤退を表明
平成18年	3月	地上デジタル放送用のタワー建設（さいたまタワー）の誘致を断念
平成18年	4月	片柳コミュニティセンターが開設
平成18年	4月	浦和東部第一地区・浦和東部第二地区・岩槻南部新和西地区がまちびらき（みそのウイングシティ）
平成18年	4月	イオン浦和美園ショッピングセンターがオープン（みそのウイングシティ）
平成18年	4月	市内公共施設にAED（自動対外式除細動器）の配置がはじまる（平成19年度完了）
平成18年	4月	動物愛護ふれあいセンターを開設（6月から動物愛護事業を行う）
平成18年	5月	片柳図書館が開設（片柳コミュニティセンター内）
平成18年	5月	江戸時代の岩槻藩校「遷喬館」が復元され公開
平成18年	5月	さいたまの水を販売
平成18年	6月	エコアジア2006（さいたま市初の国際会議）が開催(ロイヤルパインズホテル)
平成18年	7月	防災・防犯情報などを携帯電話へお知らせする「あんしんメール」の配信開始（平成22年3月31日配信終了）
平成18年	8月	首都高速埼玉新都心線がさいたま新都心～さいたま見沼間の開通により全線開通
平成18年	8月	2006FIBAバスケットボール世界選手権ファイナルラウンドが開催（さいたまスーパーアリーナ）
平成18年	8月	浦和学院高校が第88回全国高校野球選手権大会に出場
平成18年	9月	北部拠点宮原土地区画整理事業の換地処分が完了。北区宮原町1丁目、植竹町1・2丁目、土呂町、本郷町の各一部が変更となる
平成18年	9月	緑区大字井沼方の全域が東浦和2丁目に編入
平成18年	11月	東武野田線東岩槻駅南口が開設
平成18年	11月	鴻沼川浸水対策事業が完了
平成18年	11月	世界バレー男子第一次ラウンドさいたま大会が開催（さいたまスーパーアリーナ）

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成18年	12月	浦和レッドダイヤモンドズが14年目でリーグ初制覇。Vパレードでは沿道（県庁前～市役所）に6万5000人が集まる
平成19年	1月	浦和レッドダイヤモンドズが天皇杯連覇を達成
平成19年	1月	岩槻区でコミュニティバスの運行開始
平成19年	1月	浦和駅鉄道高架化事業1番線ホームが完成
平成19年	3月	氷川参道の入口に「一の鳥居ひろば」が完成
平成19年	3月	「岩槻人形」が国の伝統的工芸品に指定
平成19年	4月	保健所、健康科学研究センター、鈴谷公民館、障害者総合支援センターが開設
平成19年	4月	全市立小・中学校の学校図書館に学校図書館司書を配置
平成19年	4月	辻南小学校が開校
平成19年	4月	浦和中学校が開校（さいたま市立初の中高一貫教育校）
平成19年	4月	療育センターさくら草が開設
平成19年	4月	さいたま市議会議員一般選挙執行
平成19年	4月	特別高度救助隊「さいたまブレイブハート」を創設
平成19年	6月	青色防犯パトロールを開始
平成19年	6月	ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007が開催（さいたまスーパーアリーナ）
平成19年	7月	花火大会がこの年から3会場に分かれて開催（大和田公園・浦和競馬場・岩槻文化公園）
平成19年	7月	さいたまコールセンター「さいコール」が開設
平成19年	7月	新潟県中越沖地震が発生（7月16日）。大宮区で震度4、新幹線・私鉄が一時運転見合わせ
平成19年	7月	新潟県中越沖地震に伴う災害支援活動を行う
平成19年	8月	さいたま市が県内初の「国際会議観光都市」に認定される（国土交通省）
平成19年	8月	浦和消防署日の出張所が新庁舎へ移転
平成19年	8月	浦和学院高校が第89回全国高校野球選手権大会に出場
平成19年	9月	市報さいたまんがを発行。市の魅力や施策をマンガでPR（第28話（2010年4月1日号）をもって終了）
平成19年	9月	北浦和図書館東高砂分館が閉館
平成19年	10月	市の人口が120万人を超える
平成19年	10月	浦和駅東口駅前にコムナーレが落成
平成19年	10月	市の施策PRキャラクター「つなが竜ヌゥ」がデビュー
平成19年	10月	コムナーレが開設（国際交流センター、浦和消費生活センター、市民活動サポートセンター、浦和コミュニティセンター）
平成19年	10月	市納税催告センターが開設
平成19年	10月	鉄道博物館がオープン
平成19年	10月	浦和パルコがオープン
平成19年	11月	大宮公園サッカー場が「NACK5スタジアム大宮」としてリニューアル開設（市内初のネーミングライツ）
平成19年	11月	合併記念見沼公園が開設
平成19年	11月	中央図書館が開設（コムナーレ内）
平成19年	11月	浦和レッドダイヤモンドズがアジアチャンピオンリーグで日本勢として初優勝
平成20年	1月	埼玉栄高校が第86回全国高校サッカー選手権大会に出場
平成20年	2月	北区大字上加の全域が日進町2丁目に編入
平成20年	2月	岩槻区大字南平野の一部が東岩槻6丁目に編入
平成20年	2月	市内産のブランド米「さいたま育ち」が販売開始
平成20年	2月	債権回収対策本部を設置

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成20年	3月	南房総市との友好都市提携を解消（旧岩槻市と旧千倉町の間で提携）
平成20年	3月	交通災害共済制度を廃止
平成20年	4月	さいたま観光大使が誕生
平成20年	4月	伝統産業を指定（浦和のうなぎ・大宮の盆栽・岩槻の人形）
平成20年	4月	子育て支援医療費助成事業を実施（所得制限を設けず中学生までを対象とする）
平成20年	4月	北区役所がプラザノース内に移転
平成20年	5月	窓口申請パッケージ化事業「パッケージ工房」を全区で実施（平成19年6月から見沼区で試行）
平成20年	5月	プラザノース・北図書館が開設（さいたま市初のPFI手法）
平成20年	5月	さいたま市が第1回ベストマザー賞特別賞（自治体部門）を受賞（NPO法人ひまわりの会主催）
平成20年	5月	「浦和うなこちゃん」の石像が完成（JR浦和駅西口前）
平成20年	7月	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「彩夏到来08埼玉総体」が開催
平成20年	7月	島町東部土地区画整理事業の換地処分が完了。見沼区島町の一部が島町1・2丁目となる
平成20年	7月	山崎農住組合土地区画整理事業の換地処分が完了。緑区大字三室の一部が変更となる
平成20年	7月	建築物緑化推進制度を創設（屋上や壁面を緑化する費用の一部を助成）
平成20年	8月	第20回国連軍縮会議inさいたまが開催（浦和ロイヤルバインズホテル）
平成20年	8月	全市立小・中学校及び高校の普通教室にエアコンを設置完了
平成20年	8月	浦和学院高校が第90回全国高校野球選手権大会に出場
平成20年	8月	さいたま市商工会議所が「さいたま小町」の募集を開始（任期1年）
平成20年	9月	さいたま市議会と埼玉大学が連携に関する覚書を締結
平成20年	10月	伝統産業事業所を指定
平成20年	11月	日進東土地区画整理事業の換地処分が完了。北区日進町2・3丁目、宮原町3丁目、大成町4丁目の各一部が変更となる
平成20年	11月	テクニカルブランド企業を認定
平成21年	1月	市立浦和高校が第87回全国高校サッカー選手権大会に出場
平成21年	1月	緊急経済対策本部を設置（8月に経済活性化対策本部となる）
平成21年	1月	日進東地区が街びらき
平成21年	1月	深作西部土地区画整理事業の換地処分が完了。見沼区大字深作、大字丸ヶ崎、大字小深作、島町の各一部が春岡1～3丁目、深作1・3丁目、島町1・2丁目となる
平成21年	3月	市民医療センターが開院
平成21年	3月	JR西大宮駅が開業
平成21年	3月	大宮西部地区がまちびらき（Liv-Field西大宮）
平成21年	3月	新都心大橋が完成し、都市計画道路赤山東線が開通（国道17号～産業道路間）
平成21年	3月	全区役所で「ISO14001」の認証を取得
平成21年	3月	大宮駅東口駅前広場が完成
平成21年	3月	市内半日観光コース（8ルート）が設けられる
平成21年	4月	新型インフルエンザ危機警戒本部を設置（5月に危機対策本部となる）
平成21年	4月	谷田市民の窓口が谷田支所になる
平成21年	4月	東岩槻市民の窓口が東岩槻支所になる
平成21年	4月	つばさ小学校が開校
平成21年	4月	住宅用太陽光発電設備補助金の交付開始
平成21年	4月	定額給付金・子育て応援特別手当の申請受付（10月まで）
平成21年	4月	宇宙滞在中の若田光一宇宙飛行士（本市出身）が市内の小・中学生らと交信（青少年宇宙科学館、母校の宮原小学校等）

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成21年	5月	さいたま市長選挙執行。3代目市長に清水勇人氏が初当選
平成21年	5月	さいたま市議会議員補欠選挙（西区・北区）執行
平成21年	7月	全区役所に「くらし応援室」を設置
平成21年	10月	全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」が開催（埼玉スーパーアリーナ・コムナーレ）
平成21年	10月	若田宇宙飛行士の帰還報告会・交流会が開催（ソニックシティ・さいたま市宇宙劇場）
平成21年	11月	区長マニフェストを策定（区民サービスの具体的目標を区民向けに説明）
平成21年	11月	電気自動車普及推進のためE-KIZUNA Project協定を締結（年内2社と締結）
平成22年	1月	さいたま市が電気自動車を導入
平成22年	3月	国道17号上尾道路の宮前IC―県道上尾環状線が開通
平成22年	3月	大宮盆栽美術館が開設
平成22年	4月	さいたま市が発行する印刷物にコスト表記はじまる（政令指定都市で初めての取り組み）
平成22年	4月	「子ども未来局」を設置
平成22年	4月	さいたま新都心 ホテルブリランテ武蔵野にて「第1回E-KIZUNAサミット・フォーラム in さいたま」を開催
平成22年	6月	さいたま都市計画事業中尾不動谷・駒前土地区画整理事業の換地処分が完了。緑区大字中尾（一部）の小字界及び地番が変更となる
平成22年	8月	浦和ロイヤルパインズホテルにて「第22回国連軍縮会議 in さいたま」を開催
平成23年	3月	東日本大震災が発生（3月11日）。市内で震度5強を観測
平成23年	3月	県内で初めて計画停電が実施される（3月15日）
平成23年	3月	指扇北土地改良区営土地改良事業指扇北地区（区画整理事業）の換地処分が完了。西区大字清河寺・大字高木（各一部）の大字・小字界及び地番が変更となる
平成23年	3月	さいたま市全区で区の花を制定
平成23年	4月	さいたま市議会議員一般選挙執行
平成23年	5月	さいたま市誕生10周年
平成23年	5月	さいたま市ご当地サイダー「大宮盆栽だー！！」の販売開始
平成23年	10月	さいたまスポーツコミッションが設立（全国自治体で初めて）
平成23年	10月	幅広い分野において密接な協力と連携をしていくため「大学コンソーシアムさいたま」を設立
平成23年	11月	さいたま市誕生10周年記念式典を開催
平成23年	11月	名誉市民賞を贈呈（平沼康彦氏、相川宗一氏）
平成23年	11月	市民栄誉賞を贈呈（佐々木則夫氏、矢野喬子氏、山郷のぞみ氏、熊谷紗希氏）
平成23年	11月	市のキャッチフレーズが「のびのびシティ さいたま市」に決定
平成24年	1月	岩槻区役所がワッツ内に移転
平成24年	4月	美園小学校、さくら草特別支援学校が開校
平成24年	11月	東部地域・鉄道戦略室を設置
平成24年	11月	市の各種証明書のコンビニエンスストア交付開始
平成25年	1月	JR武蔵浦和駅西口複合公益施設（サウスピア）落成式
平成25年	3月	JR浦和駅の高架化事業が完了し、「湘南新宿ライン」の浦和駅停車が始まる。また、東西連絡通路も全面開通へ
平成25年	3月	武蔵浦和駅第1街区（プラムシティ）街びらき
平成25年	4月	大宮区に乳幼児の子育て支援を中心とした施設であるのびのびプラザ大宮が開設
平成25年	4月	浦和学院が第85回記念選抜高等学校野球大会で初優勝
平成25年	5月	さいたま市長選挙執行。清水勇人氏が再選
平成25年	5月	さいたま市議会議員補欠選挙（見沼区）執行

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成25年	6月	秋篠宮殿下が大宮盆栽美術館を訪問
平成25年	9月	さいたま都市計画事業三室南宿土地区画整理事業の換地処分が完了。緑区大字三室・松木1丁目（各一部）の町字界及び地番が変更となる
平成25年	10月	「さいたまクリテリウム by ツールドフランス」が初開催
平成26年	3月	国際宇宙ステーションに滞在中の若田宇宙飛行士が、日本人初の船長に就任
平成26年	3月	従来の「父子健康手帳」をリニューアルし「父子手帳」の配布を開始
平成26年	3月	大宮駅東西連絡通路リニューアル記念式典にて、デジタルサイネージや円形LEDディスプレイがお目見え
平成26年	4月	「都市戦略本部」を設置
平成26年	4月	埼玉社会保険病院（浦和区）が組織改編に伴い「埼玉メディカルセンター」へ名称変更
平成26年	5月	若田宇宙飛行士が帰還（国際宇宙ステーション第39代船長の任務を完了）
平成26年	12月	障害者の就職を支援するため市役所に「ステップアップオフィス」を開設
平成27年	1月	災害時の情報収集や関係機関との連絡調整等を行う危機管理センターを開設（開所式と初動対応訓練を実施）
平成27年	3月	北陸新幹線が金沢駅まで延伸、上野東京ライン開業
平成27年	4月	「市民局」、「スポーツ文化局」、「オリンピック・パラリンピック部」、「東部地域・鉄道戦略部」などを設置
平成27年	4月	桜環境センターが開設
平成27年	4月	さいたま市議会議員一般選挙執行
平成27年	5月	指扇駅北口に広場が完成し、駅の橋上化、北口の設置とともに記念式典が開催
平成27年	6月	浦和レッドダイヤモンズがJリーグ第1ステージ優勝
平成27年	6月	大宮盆栽美術館がクールジャパン・アワードを受賞
平成27年	8月	ごみ分別アプリの無料配信を開始
平成27年	10月	公民学が連携し美園地区のまちづくりを創造する拠点として「アーバンデザインセンターみその」が浦和美園駅西口にオープン
平成27年	11月	大宮アルディージャがJ2を制覇しJ1復帰を決める
平成27年	11月	さいたま国際マラソンが初開催
平成27年	11月	JR浦和駅にアトレ浦和が開店
平成27年	12月	岩槻人形協同組合の100周年を記念し、岩槻駅東口で職人による人形制作の実演を披露
平成28年	2月	「浦和のうなぎを育てる会」が協同組合を設立し法人化へ
平成28年	2月	ノーベル医学生理学章を受章した大村智さんに市民栄誉賞を贈呈
平成28年	3月	ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章さんに市民栄誉賞を贈呈
平成28年	3月	岩槻郷土資料館（旧岩槻警察署本庁舎・附属庁舎及び演武場）が国の登録有形文化財に登録
平成28年	3月	緑消防署、尾間木児童センター、尾間木公民館の複合施設が完成
平成28年	3月	東武野田線の大宮～春日部間で急行運転開始
平成28年	3月	さいたま市立病院などが埼玉県から救命救急センターとして承認
平成28年	4月	全10区に児童センターの開設完了
平成28年	4月	熊本地震による被災者の健康支援のため職員（保健師）を派遣
平成28年	5月	岩槻駅東西自由通路が開通
平成28年	8月	JR日進駅の南口広場が完成し、記念式典が開催
平成28年	9月	さいたまスーパーアリーナとさいたま新都心けやきひろばがリニューアルグランドオープン
平成28年	9月	中央区役所に設置の蒸気機関車が解体
平成28年	9月	さいたま市初の国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」が開幕
平成28年	10月	「造幣局さいたま支局」及び「造幣さいたま博物館」が大宮区にオープン

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
平成28年	10月	浦和レッドダイヤモンドズがJリーグ・YBCルヴァンカップで優勝
平成28年	10月	浦和レッドダイヤモンドズがJ1リーグ第2ステージで優勝
平成29年	1月	さいたま新都心に移転した埼玉県立小児医療センター及びさいたま赤十字病院がオープン
平成29年	1月	さいたま市立高等看護学院の新校舎が竣工
平成29年	2月	さいたま都市計画事業浦和東部第二土地区画整理事業の換地処分が完了。緑区大字高畑の一部、緑区大字寺山の一部、緑区大字上野田の一部、緑区大字中野田の一部、緑区大字下野田の一部、緑区大字大崎の一部、緑区大字玄蕃新田の一部、緑区大字南部領辻の一部、緑区大字大門の一部が緑区美園1～6丁目となる
平成29年	2月	さいたま市都市計画事業岩槻南部新和西土地区画整理事業の換地処分が完了。岩槻大字尾ヶ崎の一部、岩槻区大字尾ヶ崎新田の一部、岩槻区大字釣上の一部、岩槻区大字釣上新田が岩槻区美園東1～3丁目となる。
平成29年	3月	春野図書館がリニューアルオープン
平成29年	4月	東武野田線岩槻駅の駅舎改修工事が竣工、西口が開設
平成29年	4月	妊娠・出産包括支援センターが全区に開設
平成29年	4月	「第8回世界盆栽大会inさいたま」が開催
平成29年	5月	さいたま市長選挙執行。清水勇人氏が再選
平成29年	5月	さいたま市史が初刊行（『さいたま市史鉄道編～鉄道で語るさいたまの歴史』）
平成29年	8月	北区吉野町と上尾市原市を結ぶ「吉野橋」が開通
平成29年	11月	さいたま都市計画事業大宮西部土地区画整理事業の換地処分が完了。西区大字指扇の一部、西区大字清河寺の一部、西区大字高木の一部、西区大字中釘の一部が西区西大宮1～4丁目となる
平成29年	11月	大宮盆栽美術館の来館者が50万人を超える
平成29年	11月	浦和レッドダイヤモンドズがアジア・チャンピオンズリーグ優勝
平成30年	4月	「さいたま市子ども家庭総合センター（愛称：あいぱれっと）」が開設
平成30年	7月	鉄道博物館の新館がオープン
平成30年	9月	市の人口が130万人を突破
平成30年	10月	さいたま新都心公園がオープン
平成30年	12月	浦和レッドダイヤモンドズがサッカー天皇杯優勝
平成31年	1月	県立小児医療センター（中央区）が県災害拠点病院に指定
平成31年	3月	さいたま都市計画事業大間木水深土地区画整理事業の換地処分が完了。緑区大字大間木の一部が緑区大間木2～3丁目となる
平成31年	3月	大宮駅東口駅前に「東日本連携センター（愛称：まるまるひがしにほん）」が開業
平成31年	4月	美園北小学校、美園南中学校が開校
平成31年	4月	大宮国際中等教育学校が開校
平成31年	4月	さいたま市議会議員一般選挙執行
令和元年	5月	大宮区役所新庁舎がオープン
令和元年	8月	浦和競馬場の新スタンドが完成
令和元年	9月	本市を本拠地とする自転車ロードレースのプロチーム「さいたまディレーブ」が設立される
令和元年	9月	世界かんがい施設遺産に「見沼代用水」が登録される（県内初）
令和元年	10月	台風19号により、市内でも浸水などの被害が出る
令和元年	11月	さいたま市とドイツ・バイエルン州ニュルンベルク市が経済連携のための覚書（MoU）を締結
令和元年	12月	さいたま市立病院新病院が開院
令和2年	1月	大宮区・浦和区にそれぞれ「市税事務所」を設置
令和2年	2月	岩槻人形博物館及びにぎわい交流館いわつきが開館

さいたま市年表（平成13年5月～令和3年12月）

年	月	主な出来事
令和2年	3月	新型コロナウイルス感染症の流行を受け市内の公民館や図書館等が休館。市内市立各学校も一斉休校
令和2年	3月	さいたま市で新型コロナウイルスの感染者が初確認される
令和2年	4月	さいたま市で県内初となるパートナーシップ宣誓制度が始まる
令和2年	4月	新型コロナウイルスによる初の緊急事態宣言が埼玉県に出される
令和2年	6月	与野郷土資料館が与野本町小学校複合施設「いーよの」内にオープン
令和2年	7月	プロバスケットボールチーム「埼玉ブロンコス」が「さいたまブロンコス」へ改称。ホームタウンにさいたま市を加え所沢市とのダブルホームタウン体制となる
令和3年	1月	さいたま市が「新型コロナワクチン対策室」を設置
令和3年	3月	5月1日を「さいたま市民の日」に制定
令和3年	4月	市内において新型コロナワクチンの接種が始まる
令和3年	5月	さいたま市誕生20周年
令和3年	5月	さいたま市長選挙執行。清水勇人氏が再選
令和3年	7月	さいたま市民憲章を制定
令和3年	7月	東京オリンピックが新型コロナウイルス流行の影響で約1年延期されて開催。さいたま市内ではサッカー（会場：埼玉スタジアム2002）及びバスケットボール（会場：さいたまスーパーアリーナ）の2競技が開催
令和3年	8月	東京パラリンピックが新型コロナウイルス流行の影響で約1年延期されて開催。
令和3年	9月	女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が発足。本市をホームタウンとする「三菱重工浦和レッズレディース」と「大宮アルディージャVENTUS」が参入
令和3年	11月	さいたま市政施行20周年記念式典（WEB式典）を開催
令和3年	12月	中央消防署が中央区役所の南（中央区下落合5丁目）から与野中央通り沿い（同4丁目）へ移転
令和3年	12月	浦和レッドダイヤモンズが天皇杯優勝